



第 11 回の SSH 通信となります。今回は「天高総合大学」の取組をお知らせします。

天高総合大学

8月24日(金)の午後から様々な大学の出張講義が集まる「天高総合大学」を実施しました。1・2年生を対象に13講座を開設し、各教室で高校の枠を超えた講義をいただきました。

『徒然草』の面白さ 尚綱大学 武田教授

徒然草を題材に文学研究の奥深さを学ぶ御講義をしていただきました。徒然草は若男女誰が読んでも現代の教訓にもなる書物で、生徒たちも古典の楽しさを知ることができました。これから生きていく価値観を考えさせてくれる有意義な時間でした。



地方の歴史から日本・世界を見る - 天草島原一揆から 長崎大学 木村教授

天草島原一揆を題材にした歴史学の講義でした。ポルトガルやオランダの一揆への対応や、幕府側の軍の構成を複数の資料から検討することで、これまでの常識とは異なる江戸時代の社会の様子や、人々の考え方を知ることができました。実際に昔の天草の地図を見た時には感動しました。



仲間づくりの心 九州ルーテル学院大学 河田教授

対人関係の臨床心理についての講義でした。自分の中には親の私、大人の私、子供の私の三つの私があります。お互いが親の私、大人の私でコミュニケーションが取れたら良い関係を築くことができます。もちろん、子供の私を素直に出せる相手がいることも大切です。仲間づくりのポイントを学びました。



誰もが安心して暮らせるまちづくり 熊本学園大学 高林教授

地域に根づいた福祉学のお話でした。熊本地震や生活保護など身近な事例をとりあげ、福祉とは人の生活を支え、地域や制度の整備をとおして社会全体をよくしていくとする活動なのだということを教えていただきました。そのためにも、良心と勇気、他者への信頼が大切なのだということも学ばせていただきました。



世界経済について 大分大学 小笠原教授

日本は大きい国か?小さい国か?面積は世界の0.25%にすぎませんが、GDPは第3位、借金額は世界一です。グローバル化が進む世界の中で、物事を考え判断するためのツールの一つとして、経済にかかわる様々なデータの見方を教えていただきました。



コンピュータを利用した英語学習 熊本大学 島谷教授

私たちが英語を習得するには、日常的に英語に触れていかなければなりません。そこで、インターネットやスマートフォンを活用し、英語の文法リスニング単語を学べる言語テストを研究されているということでした。今回はその言語テストを体験しました。大学生でなくても利用できるので皆さんも是非活用してみてください。



情報工学をもたらす世界探訪 - 情報工学は∞ - 九州工業大学 平田教授

現代社会には欠かせない情報工学の現状や、今後の進展について講義をしていただきました。情報工学の背景に潜む数学の様々な理論や、ハイパフォーマンスにおける生命と情報の融合など、幅広い内容に視野を広げることができました。



目に見えない電子が社会が発展させる 熊本大学 久保田教授

目に見えない電子が私たちの生活を動かしています。IoTで物と物が接続され、物と物が喋り出す世界が目前に迫っています。電子の性質についての講義を受け、日本の経済を回復させるヒット商品を作り出そうというインプレッシブな内容でした。



科学捜査とナノサイエンス - 体験ルミノール反応 - 崇城大学 西田准教授

血液痕を光らせることで、犯罪を見抜くことに使用されるルミノール反応を学びました。試薬を変化させると色が変わることや、光る腕輪といったおもちゃにも原理が活用されていることを教えて頂きました。化学反応の面白さを体験することができました。



医薬品と食品との相互作用について 尚綱大学 徳富教授

薬は病気の原因などを取り除いたり、症状を和らげたり、重くならないようにするサポート役です。食べ物や飲み物が互いを強めたり弱めたりすることもあります。その具体的な組み合わせについて学び、正しい効果を得るための食生活について考えることができました。



有明海・八代海の環境と生物 熊本大学 逸見教授

沿岸域は高い生物多様性が見られます。特に、熊本の干潟面積は日本で貴重です。中でも有明海八代海沿岸には太古に大陸から日本列島が切り離された時に生き残った固有種が数多く生息しています。生物の生態を研究し、生息域を保全することは自然環境に大きな影響を与えている人類の責務であることを学びました。



遺伝子組換えの利用 鹿児島大学 安部教授

遺伝子組換えは危険だと思いませんか。実は、私たちは知らないうちに、日常的に遺伝子組換えのものを食品添加物として摂取したり、医薬品として利用したりしているのです。地球上のほとんどの生命はほかの生命に依存しています。遺伝子組換えのメリット・デメリットについてご講義いただきました。



地球温暖化の影響!? 温帯の海に南の毒魚が現れる 長崎大学 谷山准教授

10年前に新聞に掲載されたシガテラ中毒は、熱帯亜熱帯域域にのみ見られていました。その食中毒が温帯地域の魚でも起きています。その原因が、魚ではなく有毒プランクトンの生息地域が広がったことと分かってきました。その他に、プラスチックも関係していることもあり、地球環境生態系の保全が求められていることを学びました。

